

SKYMENU 活用授業 実践レポート

| | | | |
|------|---------|-----|------------|
| お名前 | 小田島 玲子 | 学校名 | 国分寺市立第四小学校 |
| 実施学年 | 3年生 | 教科 | 国語 |
| 单元名 | 漢字の組み立て | | |

《学びを深めたいポイント》

- ・漢字には左右に分けられるものがあることを知り、「へん」や「つくり」について理解することができる。
- ・漢字の学習は 1 年生から始まり、系統立てて学んできている。しかし 3 年生は学習する漢字の数が一気に増える学年であり、漢字に苦手意識を持つのも 3 年生である。
- ・この単元の漢字の学習ではゲーム的要素を取り入れてなるべく苦手意識を無くし、少しでも楽しみながら学習に取り組めるようにする。

《SKYMENU 活用のポイント》

【準備】

- ①部首ごとに色を分けて、発表ノートにカードを作る。

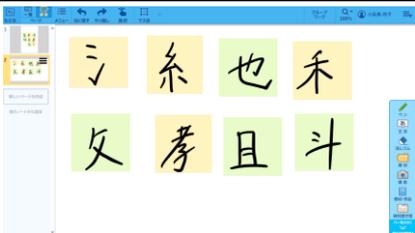
【導入】

- ②子どもに配布する。
- ③ライブ公開箱に提出させる。
- ④へんやつくり、かんむりなどを合わせて漢字を作らせる。

【展開後半】

- ⑤白紙の発表ノートを配る。
- ⑥ライブ公開箱に提出させる。
- ⑦部首ごとに色を分けて、カードを作らせる。(ペンで記入→画像化)
- ⑧完成したら、グループワークIに全員入らせる。
- ⑨ページを持ち帰らせてグループワークから退出させる。
- ⑩各自、漢字カードの組み合わせを行う。

《実践内容》

| | 学習活動 | SKYMENU 活用場面 | 活用のポイント |
|-----|--|--|---|
| 導入 | ①漢字パズルをして、漢字の組み合わせについて考える。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・SKYMENUに漢字パズルを配布する。 ・ライブ公開提出機能を用い、全員が組み合わせられるよう支援する。 |
| 展開 | <p>②「へん」について知り、同じ部分をもつ漢字を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごんべん」のカードを見て、同じ部分をもつ漢字を発表する。 <p>③同じ「へん」をもつ漢字を集める。</p> <p>④へんの共通性をさがす。</p> <p>⑤「へん」がおおまかな意味をもつことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さんずい」は、水に関わる漢字が多いように、「へん」には表す意味がある。 ・「へん」の元の漢字を考えると意味が分かる。 <p>⑥漢字パズルを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部首ごとに色を分けて、カードを作る。(ペンで記入→画像化) |   | <ul style="list-style-type: none"> ・白紙の発表ノートを配る。 ・ライブ公開箱に提出させる。 ・完成したら、グループワークIに全員入らせる。 ・ページを持ち帰らせてグループワークから退出させる。 ・各自、漢字カードの組み合わせを行う。 |
| まとめ | ⑦本時の振り返りをする。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学習感想を書く。 | | |

《実践を振り返って》

- ・導入でのライブ公開は、支援の必要な子にも、「できた!」という達成感を味合わせることができた。
- ・導入では、黒板で一部の子が漢字カードを動かすよりも、全員が手を動かしたことで、自分事として授業に入れていた。
- ・展開でのライブ公開は、支援の必要な子だけでなく、「どう作ろうか」と悩んだ子どもたちにも不安なく活動させることができた。
- ・印刷することなく漢字カードを配布できることで、印刷待ち時間、カットする手間がなく、タイムロスなしに子どもたちがスムーズに組み合わせの活動に入ることができた。
- ・グループワークで全員のカードを持ち帰れることで、「やってもらえる」という嬉しさと「どんどんやりたい!」という気持ちをもたせることができた。
- ・漢字パズルを作るにあたって、自主的に漢字ドリルや辞書を使う子どもたちも多く、意欲的かつ楽しく活動させることができた。